

# ②アクションプランの改訂に向けた タスクフォースでの役割分担やスケジュール等 (ii)PDCAスケジュールについて

原型炉開発総合戦略タスクフォース  
委員 東島 智

# 見直しのための検討スケジュール（提案）

- JA-DEMOの段階的シナリオに示す、第1期（発電実証）に想定する目標や実施時期及びその後の第2期（定格発電実証）の目標や実施時期に対し、現行のAPの課題ごとに議論・検討を行い、結果を積み上げて行くことを提案したい。
- 例えば、3回のTF会合で想定すると、以下のような流れ。
  - ✓ **第1回目**：0.炉設計、1.超伝導、2.ブランケット、3.ダイバータ、4.加熱・電流駆動、5.理論・シミュレーション、6.炉心プラズマ、7.燃料システム
  - ✓ **第2回目**：8.核融合材料と規格基準、9.安全性、10.稼働率と保守、11.計測・制御、12.社会連携、13.ヘリカル、14.レーザー方式、加えて必要であれば、新たに加えるべき課題  
(第1回目と第2回目に取扱う課題は変更される。)
  - ✓ **第3回目**：第1、2回の検討を踏まえ、原型炉開発に向けたアクションプラン（AP）を改訂し、JA-DEMOの第1期及び第2期の目標や実施時期を決定するとともに、見直すとしていた第2回中間チェックアンドレビュー（CR2）項目の確定、また必要であれば原型炉段階への移行判断（CR）の見直しを行い、最終的に原型炉研究開発ロードマップの更新を行う。
- 今回のJA-DEMO計画の改訂は、我が国の核融合エネルギー開発の方向性を大きく変更する可能性があるものであり、研究開発に遅滞を生じさせないためにも、来年、令和4年/2022年12月までに、これらAP改訂や原型炉研究開発ロードマップ更新を行うことを目標としたい。